

防犯対策委員会

発表日 2023年7月20日

発表者 防犯対策委員会 委員長

隅田 盛和



犯罪から見た日本の状況

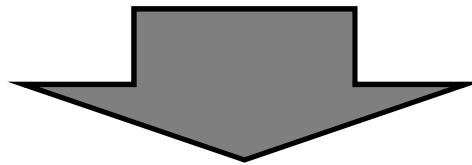
「日本は凶悪犯罪が少なく安全な国である」

人口10万人あたりの殺人発生件数(世界199カ国)

世界平均 6.68件

日本 0.25件(144位/152カ国)

(199カ国中47カ国はデータ無し)

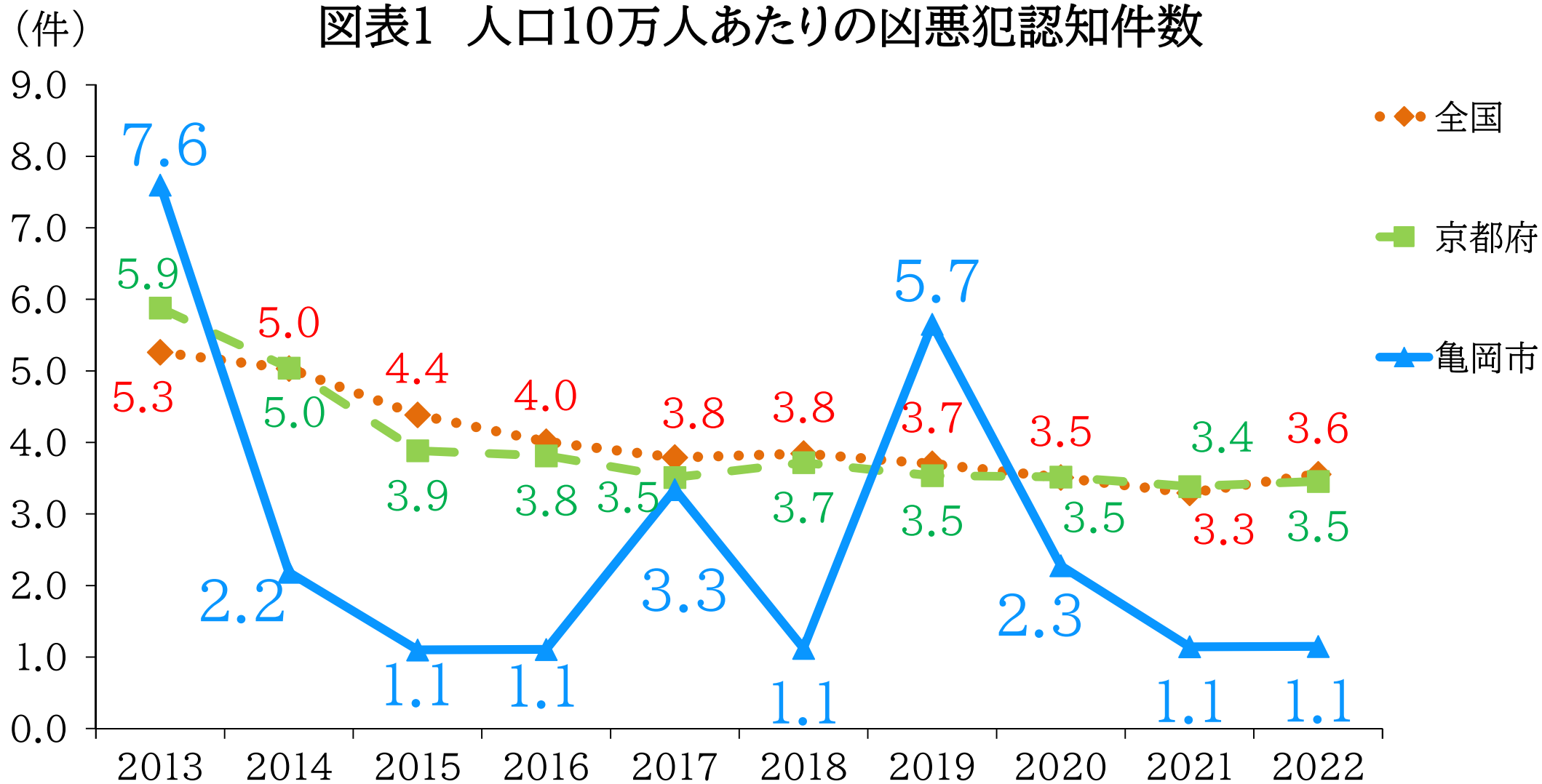


日本は、凶悪犯が少なく、世界の中でも安全な国である。

犯罪から見た亀岡市の現状

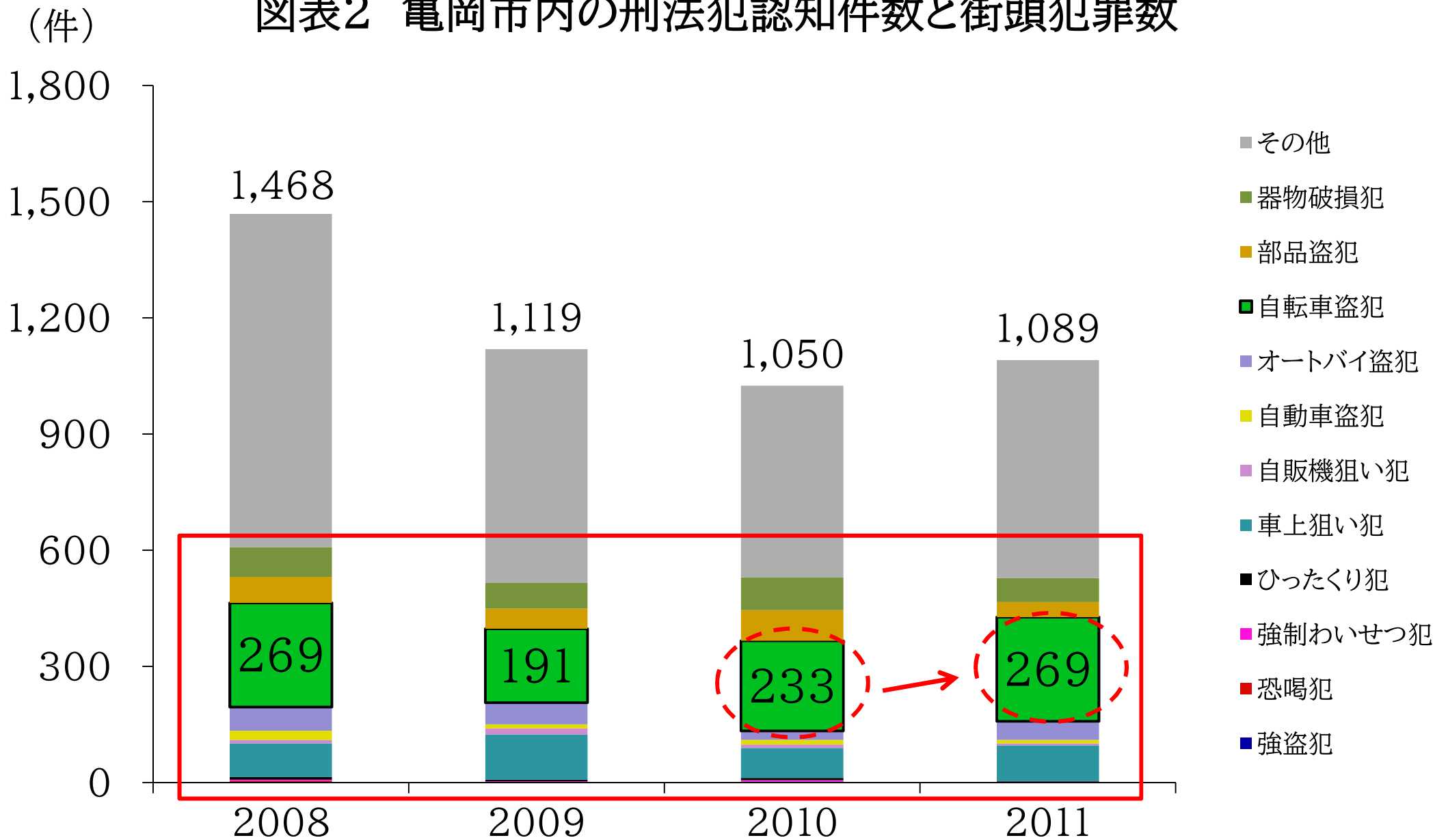
「亀岡市は犯罪による死傷が少なく安全な年が多い」

図表1 人口10万人あたりの凶悪犯認知件数



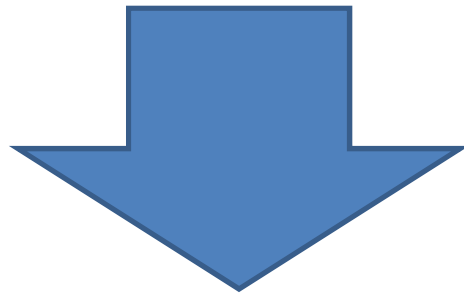
防犯対策の必要性

図表2 亀岡市内の刑法犯認知件数と街頭犯罪数



防犯対策の必要性

減少傾向であった刑法犯が2011年に増加し、
その約9割が自転車盗の増加だった



2011年

防犯対策委員会の設置

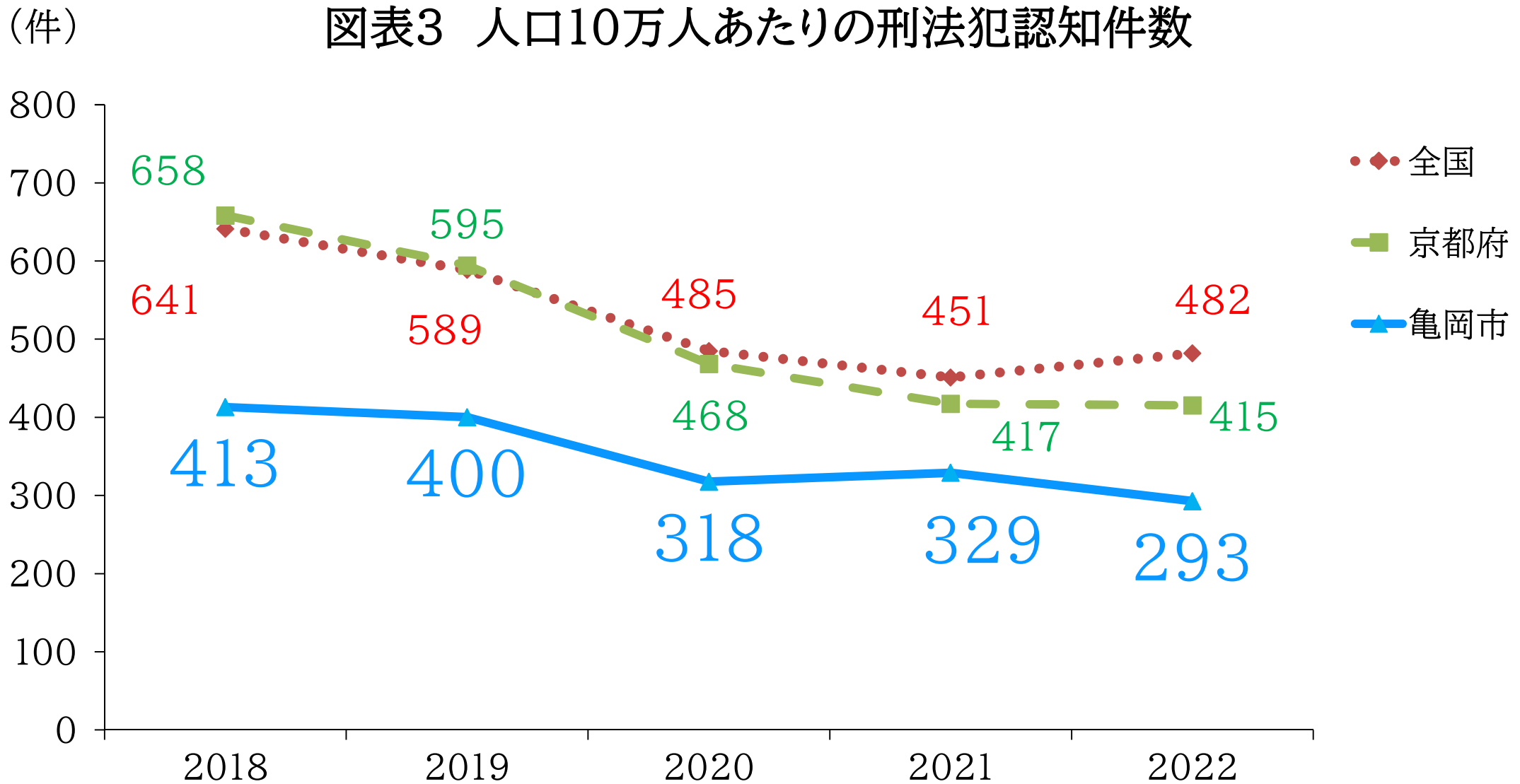
防犯対策委員会構成

区分		所属団体	役職
市民団体等	1	亀岡防犯推進委員連絡協議会 会長	委員長
	2	亀岡市青少年育成地域活動協議会 副会長	副委員長
	3	並河駅前防犯ステーション会議 会長	
	4	亀岡防犯推進委員連絡協議会 副会長	
関係機関等	5	京都先端科学大学 経済経営学部 准教授	
	6	亀岡警察署生活安全課 課長	
	7	亀岡警察署地域課 課長	
	8	亀岡市立畑野小学校 校長	
	9	亀岡市立大成中学校 校長	
行政関係	10	京都府安心・安全まちづくり推進課 副課長	
	11	亀岡市総務部 部長	
	12	亀岡市学校教育課 課長	

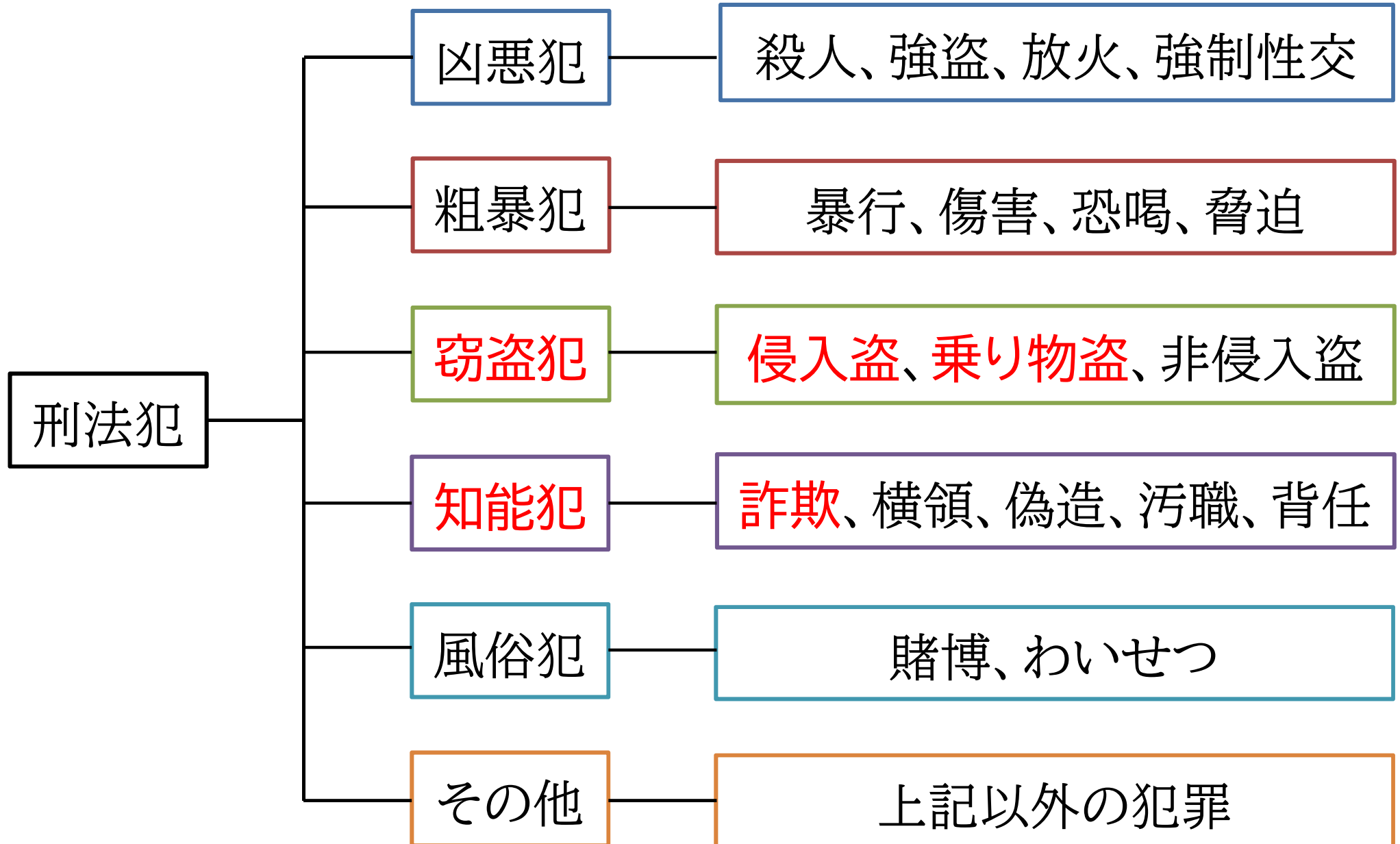
亀岡市の犯罪の現状

「亀岡市は全国、京都府と比較して犯罪が少ない」

図表3 人口10万人あたりの刑法犯認知件数



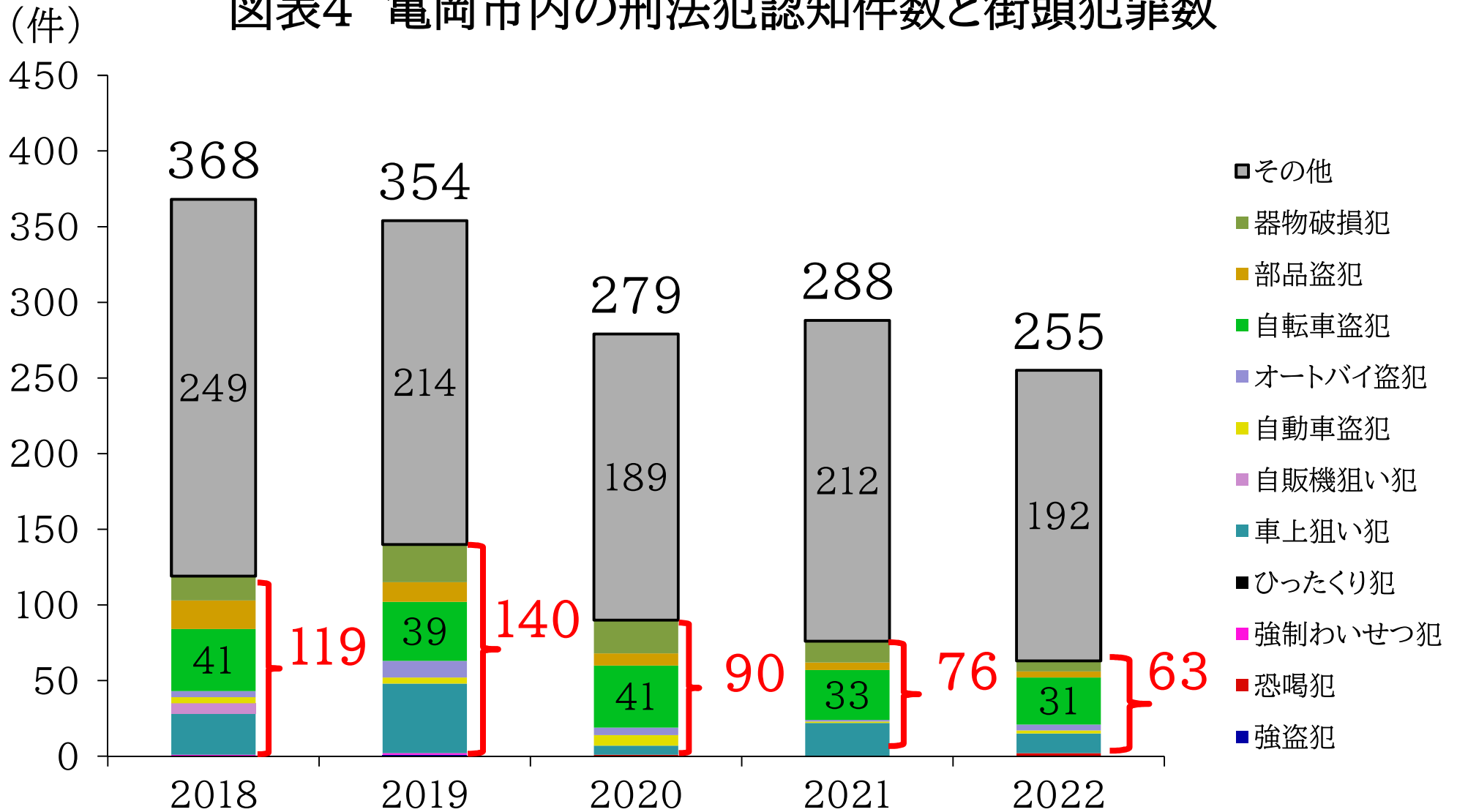
刑法犯 罪種別



データに基づく客観的課題

「刑法犯全体の中で街頭犯罪以外が半数以上を占めている」

図表4 亀岡市内の刑法犯認知件数と街頭犯罪数



街頭犯罪とは

街頭犯罪

路上強盗

恐喝

強制わいせつ

ひったくり

車上ねらい

自動販売機ねらい

自動車盗

オートバイ盗

自転車盗

部品ねらい

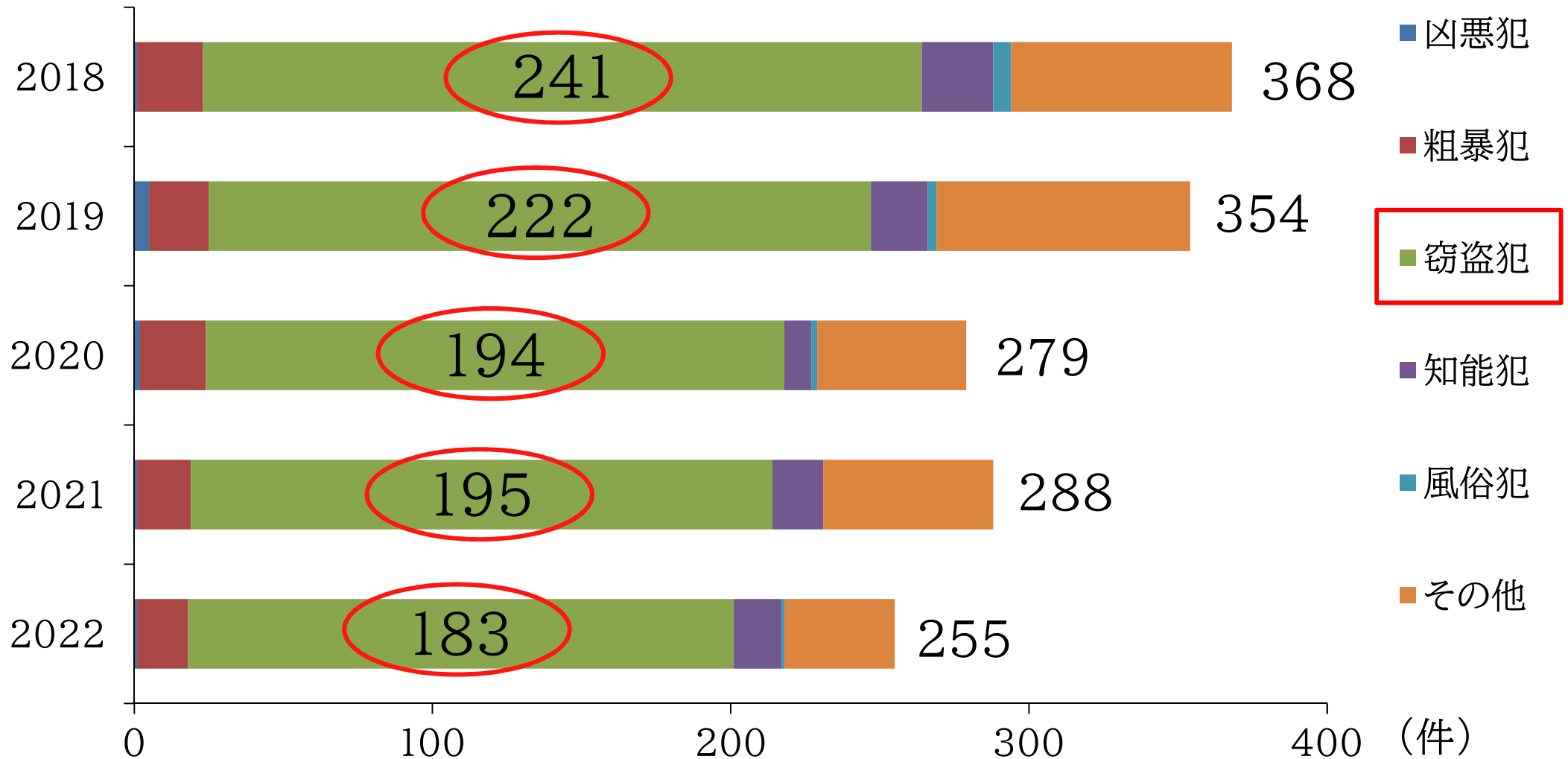
器物損壊

出典: 亀けい白書

データに基づく客観的課題

「刑法犯の中では窃盗犯が最も多い」

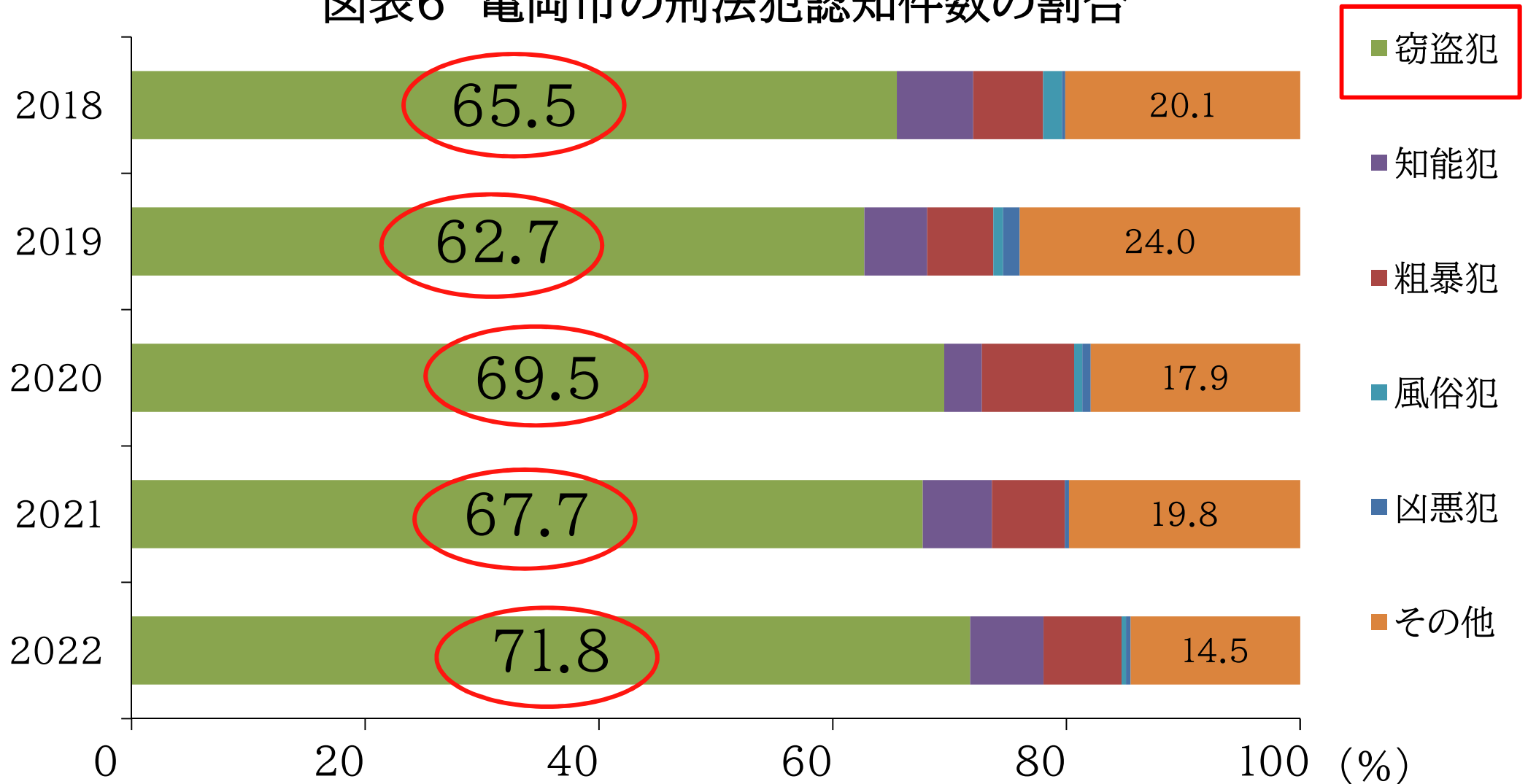
図表5 亀岡市の刑法犯認知件数の内訳



データに基づく客観的課題

「刑法犯の中では窃盗犯が6割以上を占めている」

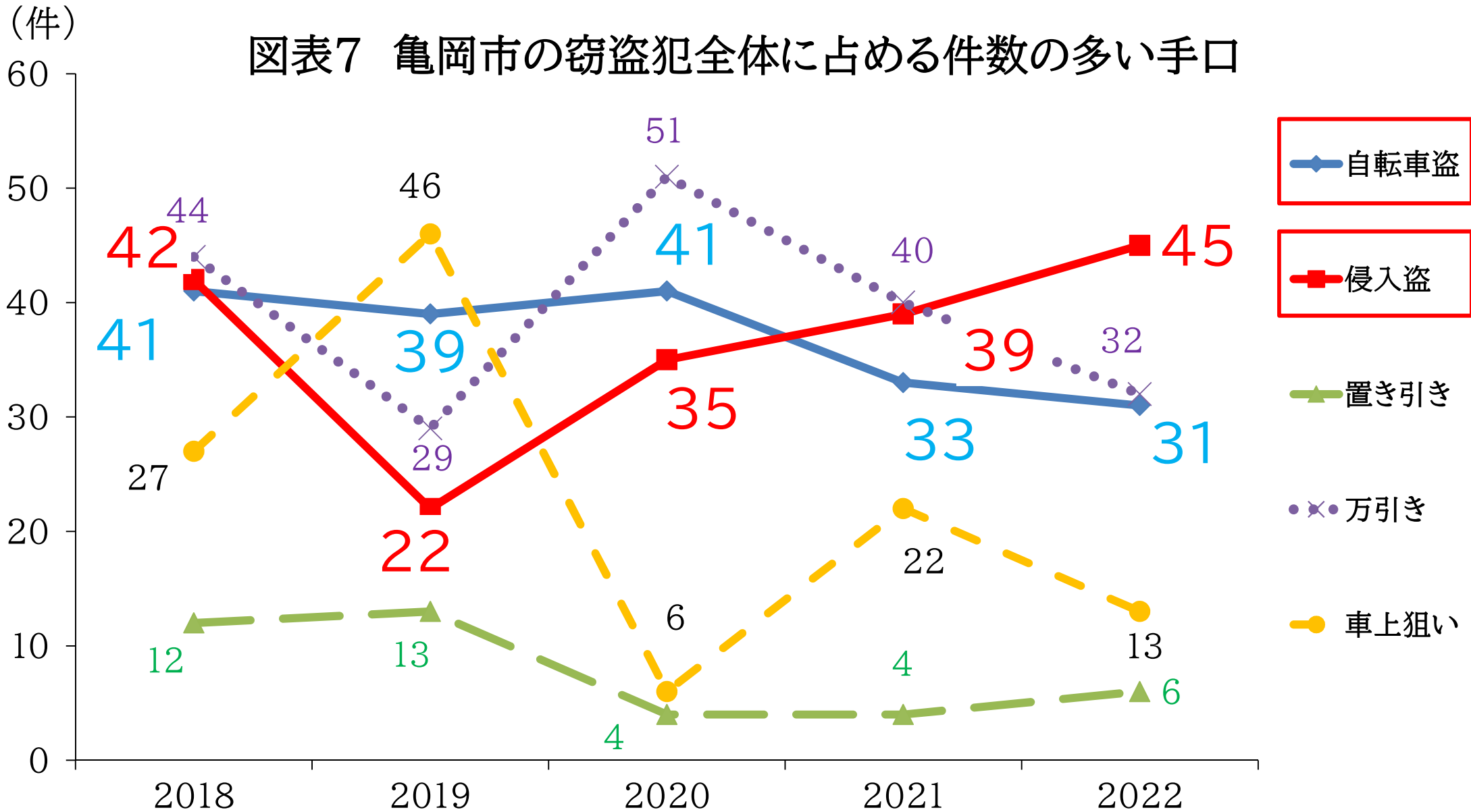
図表6 亀岡市の刑法犯認知件数の割合



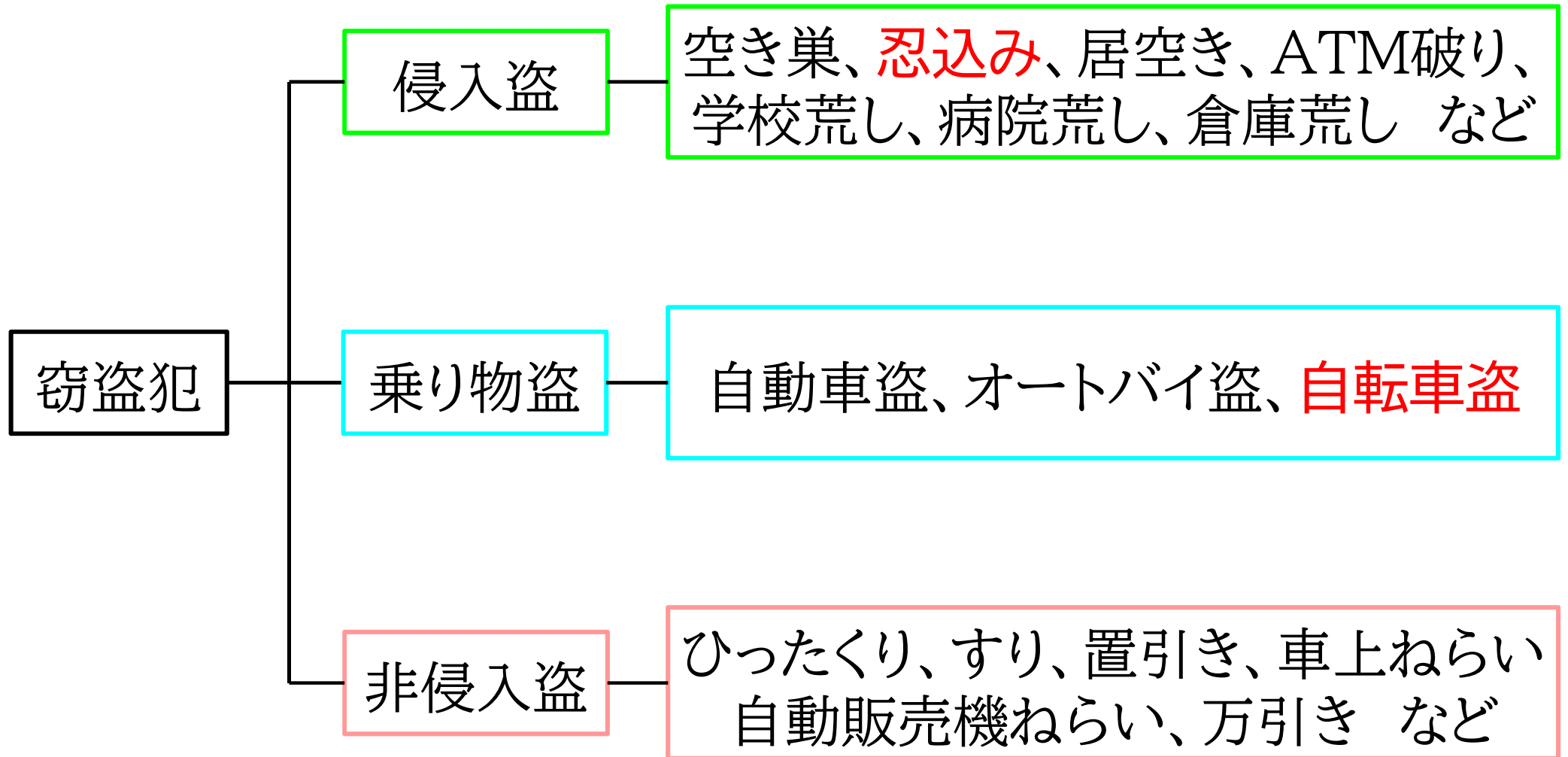
データに基づく客観的課題

「窃盗犯の上位手口」

図表7 亀岡市の窃盗犯全体に占める件数の多い手口



窃盗犯 罪種別



自転車盗は将来の重大な犯罪につながる (割れ窓理論)

図表8

ゲートウェイ犯罪(自転車盗など)

放置

より重大な犯罪

放置

殺人

放火

暴行

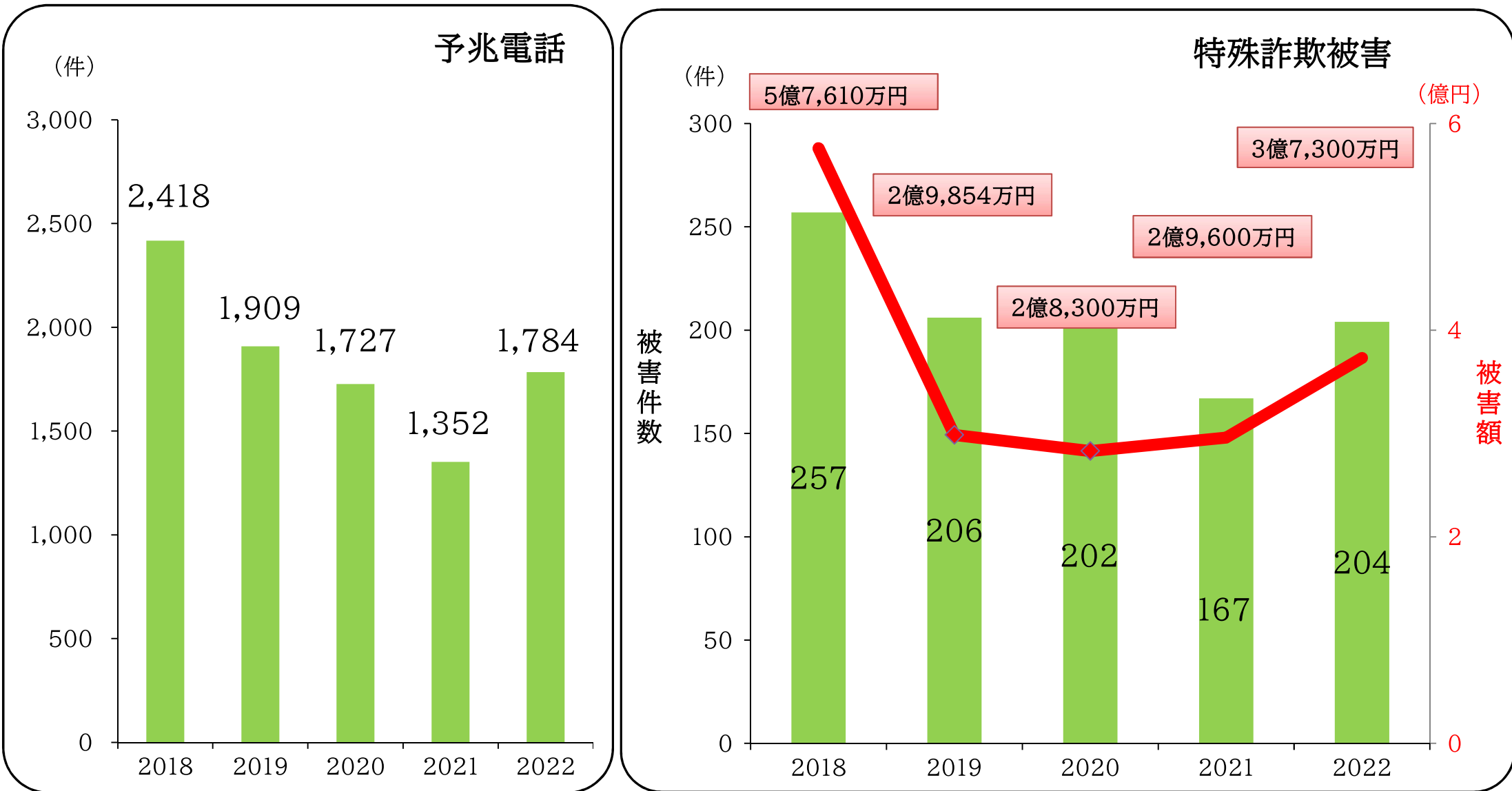
凶悪犯・粗暴犯

恐喝

データに基づく客観的課題

「予兆電話と特殊詐欺被害件数は減少しているが、被害額は依然大きい」

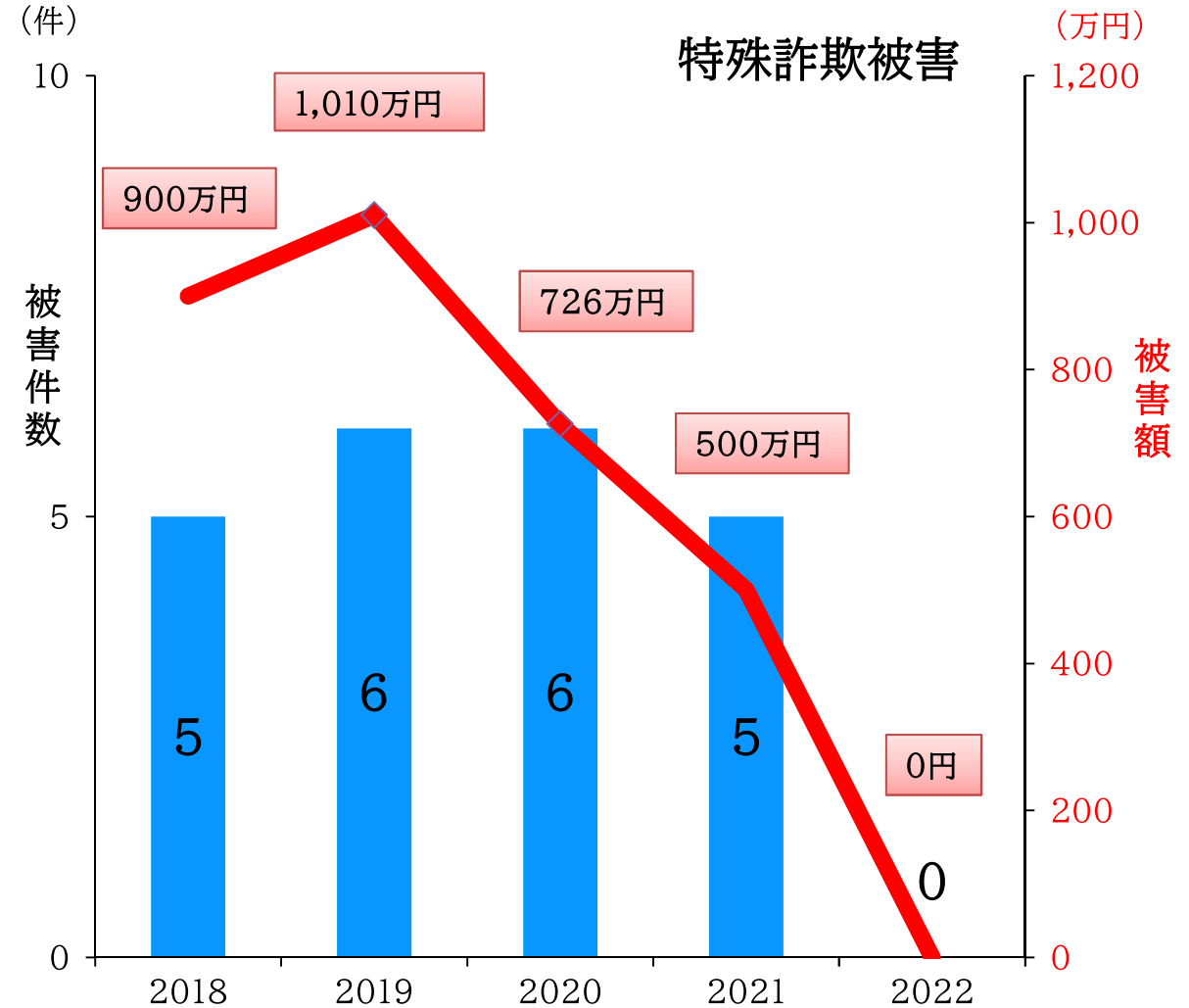
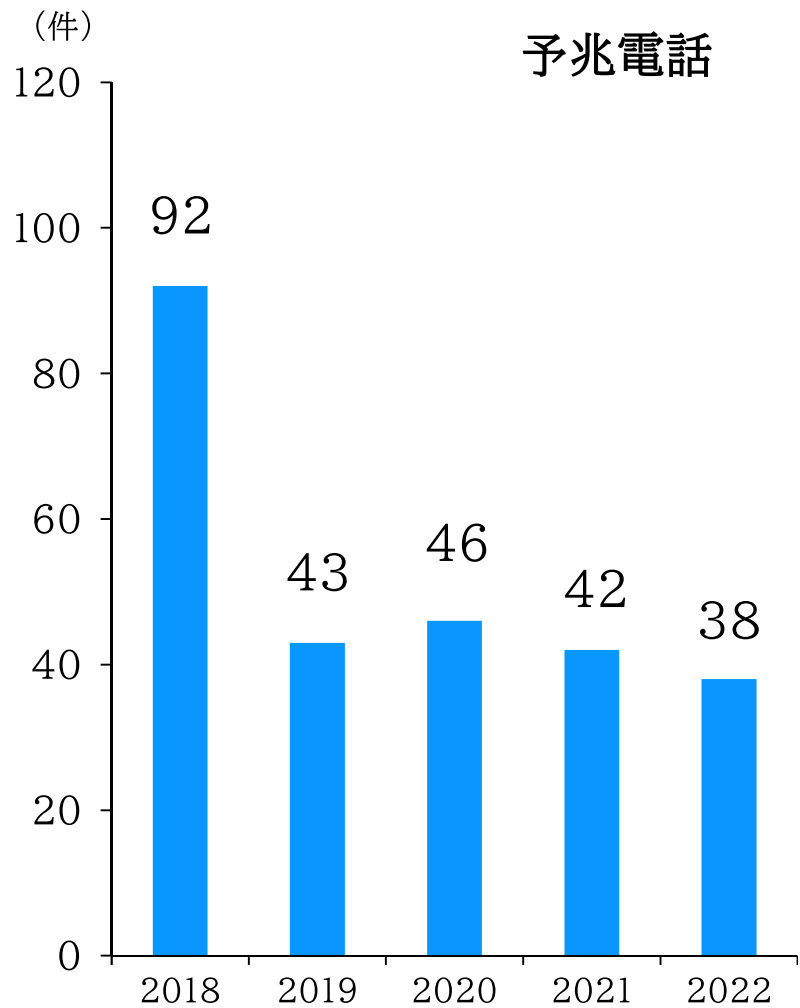
図表9 京都府



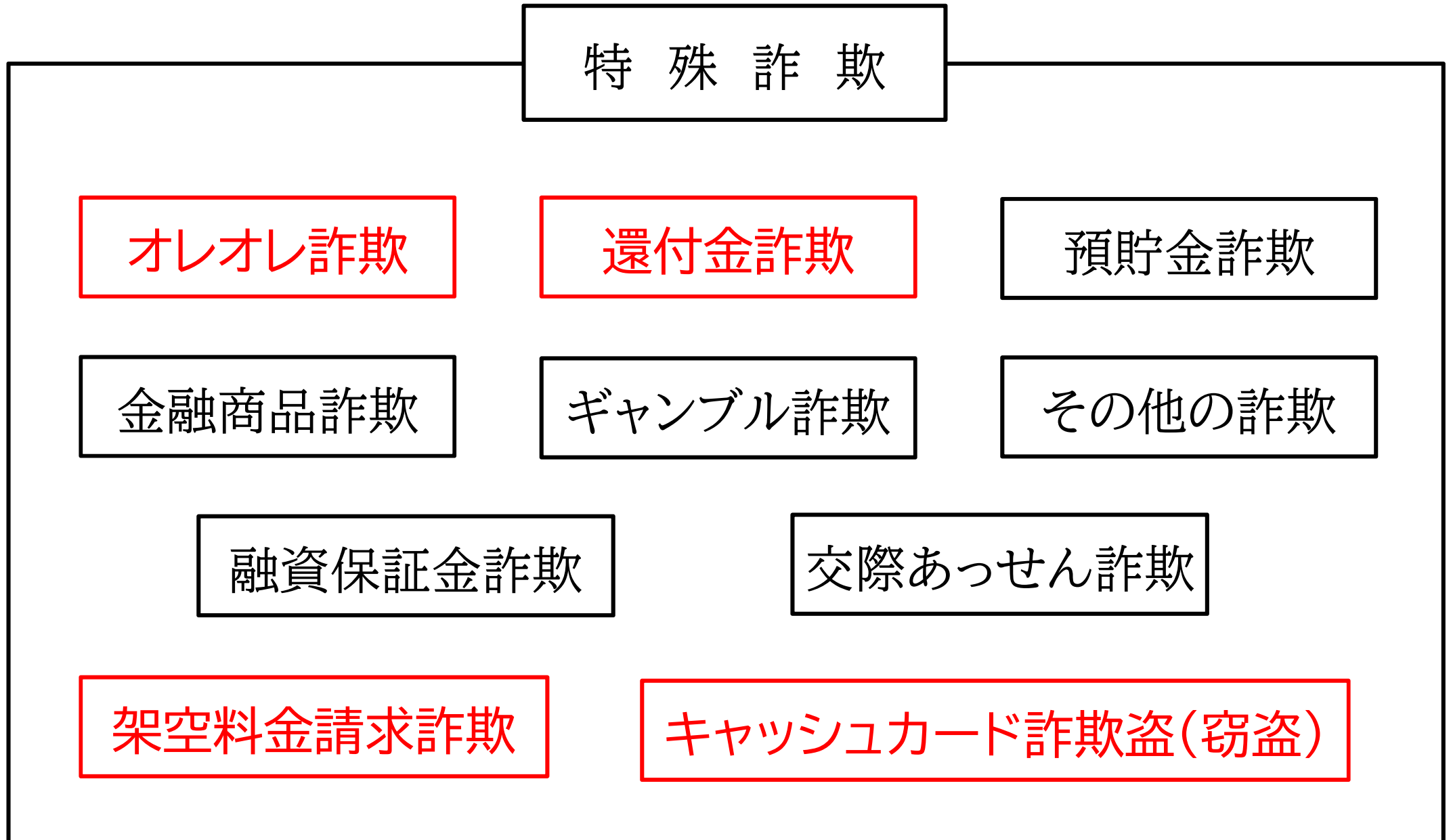
データに基づく客観的課題

「予兆電話と特殊詐欺被害件数は減少しているが、被害額は依然大きい」

図表10 亀岡市



特殊詐欺とは



主観的・客観的課題の整理

データに基づくもの

- ・刑法犯全体の中で街頭犯罪以外の犯罪が半数以上を占めている(図表4)
- ・刑法犯全体の中では、窃盗犯の割合が最も高い(図表5、6)
- ・窃盗犯の中では侵入盗、自転車盗が上位を占めている(図表7)
- ・予兆電話認知件数と特殊詐欺被害件数は減少しているが、1件あたりの被害額は依然大きい(図表10、11)

経験に基づくもの

- ・自転車盗は、将来の重大な犯罪につながる(図表9)
- ⇒割れ窓理論(軽微な犯罪も徹底的に取り締まることで、凶悪犯や粗暴犯などを含めた犯罪を抑止できるとする環境犯罪学上理論 - 米 犯罪学者 ジョージ・ケリング考案)

重点課題の設定

課題解決のための方向性と対策

課題		方向性		対策
<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺の被害件数は減少しているが、1件あたりの被害額は大きい 	→	市民の防犯意識向上	→	①防犯意識向上プログラム
<ul style="list-style-type: none"> ・刑法犯全体の中で窃盗犯が約半数を占めている 	→	侵入盗、自転車盗の防止	→	②固定防犯カメラ活用プログラム
	→	窃盗犯の防止	→	③ドライブレコーダー活用プログラム

レベル別の対策

別添資料を
御覧ください

プログラムの運営状況

	進行状況						計画 (予定)
	再認証	再々認証					
	2013	2018	2019	2020	2021	2022	2023
①防犯意識 向上プログラム							
防犯カメラ活用 プログラム							
②固定防犯カメラ 活用プログラム							
③ドライブレコー ダー活用プログラ ム							

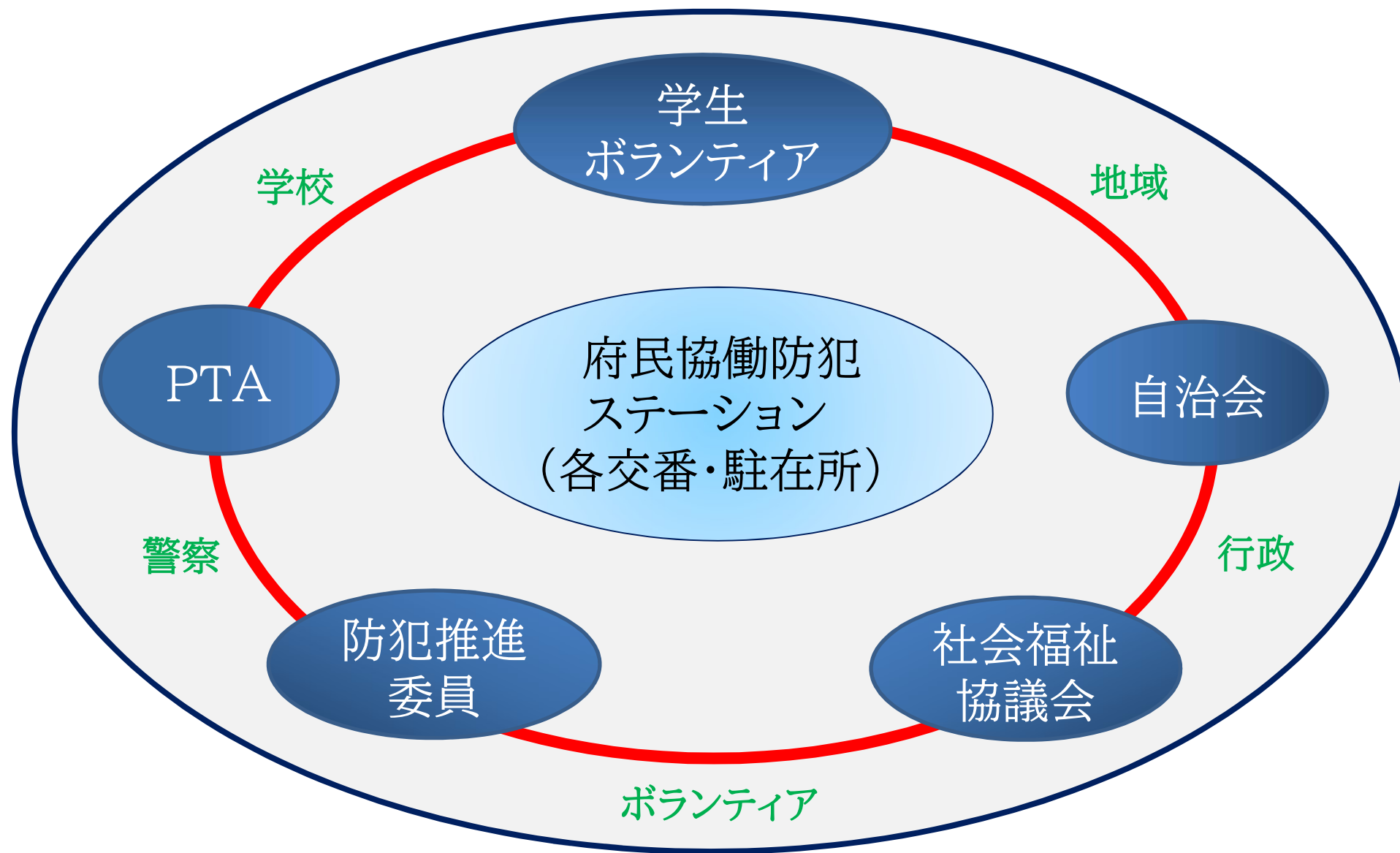
固定防犯カメラ活用プログラムと
 ドライブレコーダー活用プログラムに移行

①防犯意識向上プログラム

課題	特殊詐欺や侵入盗、自転車盗の被害が多い	
目標	被害者の立場から未然に被害を防止するために、市民一人一人の防犯意識を向上させる	
内容等	【内容】	地域の安全安心に関わる様々な団体と行政・警察が一体となって防犯に関する情報共有や啓発活動等により多様化する犯罪に対して抑止策を図る。
	【対象】	亀岡市民(学生、高齢者を中心)
(短・中期) 態度や行動の変化	【指標】 府民協働防犯ステーション活動件数	【測定】 京都府警察本部へ照会
(長期) 状態や状況の変化	【指標】 特殊詐欺件数 侵入盗件数 自転車盗件数	【測定】 亀岡警察署へ照会 犯罪統計

防犯意識向上プログラムの活動状況

府民協働防犯ステーション



防犯意識向上プログラムの活動状況

府民協働防犯ステーションの活動事例

2022年 合計 4,200件の活動（14ステーション）

- 小学校における不審者対応制圧訓練
- 幼稚園における不審者侵入訓練と人形劇
- 高齢者グループホームにおける防犯教室
- 敬老会での特殊詐欺被害防止の寸劇披露
- 振り込め詐欺対策講座開講
- 消防団との夜間合同パトロール
- レディースパトロール
- 高校野球部員との児童見守り活動
- 小学校での防犯寸劇披露
- 保育所における防犯教室
- 登下校時の見守り活動や祭などの警備活動

防犯意識向上プログラムの活動状況

6/9(ロックの日)街頭啓発



年末特別警戒



防犯推進委員連絡協議会の委員や亀岡警察署員が協力して
自転車盗や特殊詐欺被害対策を啓発

防犯意識向上プログラムの活動状況

全国地域安全運動期間中の街頭啓発



亀岡高等学校



南丹高等学校

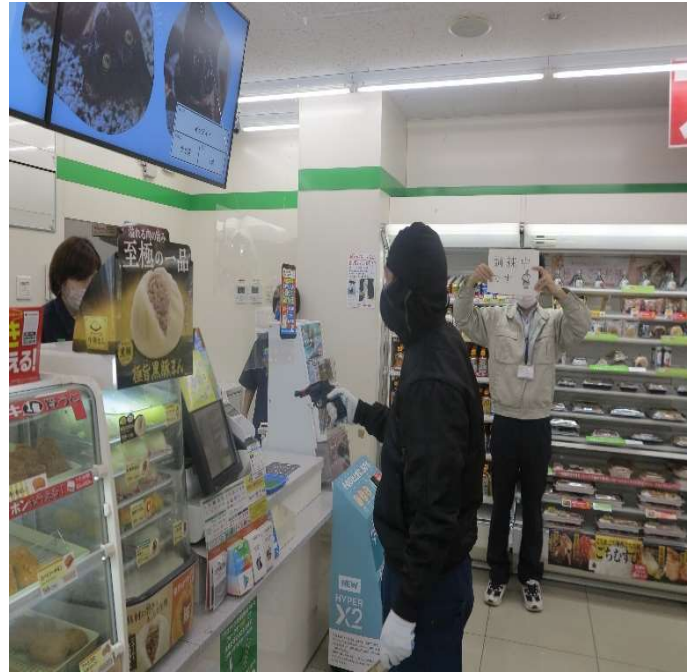
交通安全・防犯対策委員会の委員や亀岡警察署員が協力して
自転車盗被害防止のための鍵かけ対策等を啓発

防犯意識向上プログラムの活動状況

全国地域安全運動期間中の街頭啓発



架空料金請求詐欺被害防止訓練



強盗対応訓練



通報・警察対応訓練

ファミリーマート(亀岡曾我部町店)

防犯推進委員連絡協議会の委員や亀岡警察署員が協力して
コンビニ強盗・特殊詐欺訓練を実施

防犯意識向上プログラムの活動状況

青色防犯パトロール



青パト台数119台
(2023年6月末現在)

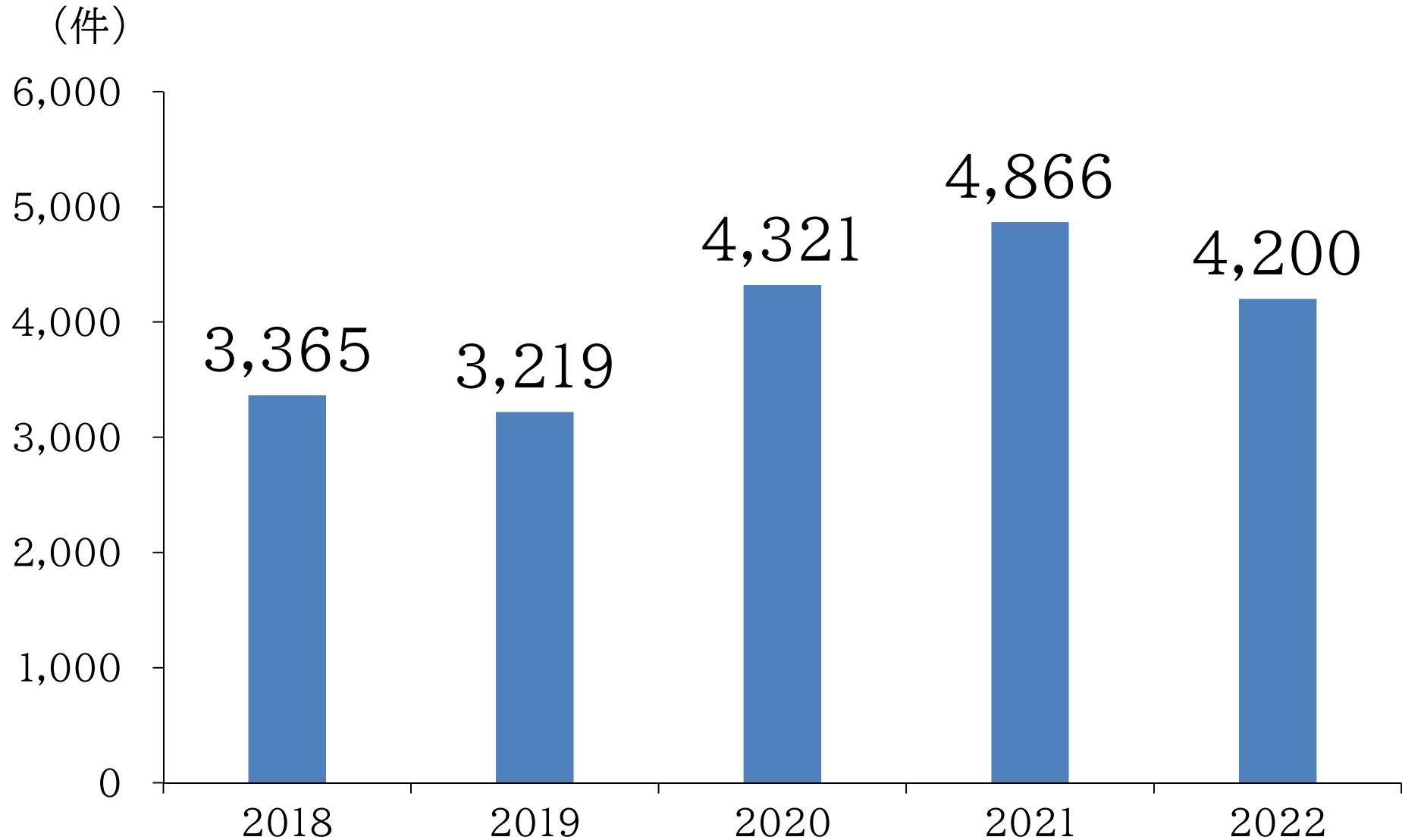
亀岡市内22団体、合計台数119台の青色防犯パトロールによる市内全域での啓発・見守り活動

防犯意識向上プログラムの活動実績

	実 績					対策委員会の 関わり	工夫点
	2018	2019	2020	2021	2022		
防犯に関する合同啓発活動	1回	8回	6回	9回	10回	啓発活動への参加 (駅前等での自転車等や侵入盗、 特殊詐欺被害防止啓発等)	街頭啓発活動や 広報紙など多様な啓発の実施
府民協働防犯ステーション活動 件数	3,365 件	3,219 件	4,321 件	4,866 件	4,200 件	委員が各ステーションの活動に参加	防犯ボランティアや自治会など、 様々な立場の方が参加

プログラム評価結果(短期・中期)

図表11 府民協働防犯ステーションの活動件数

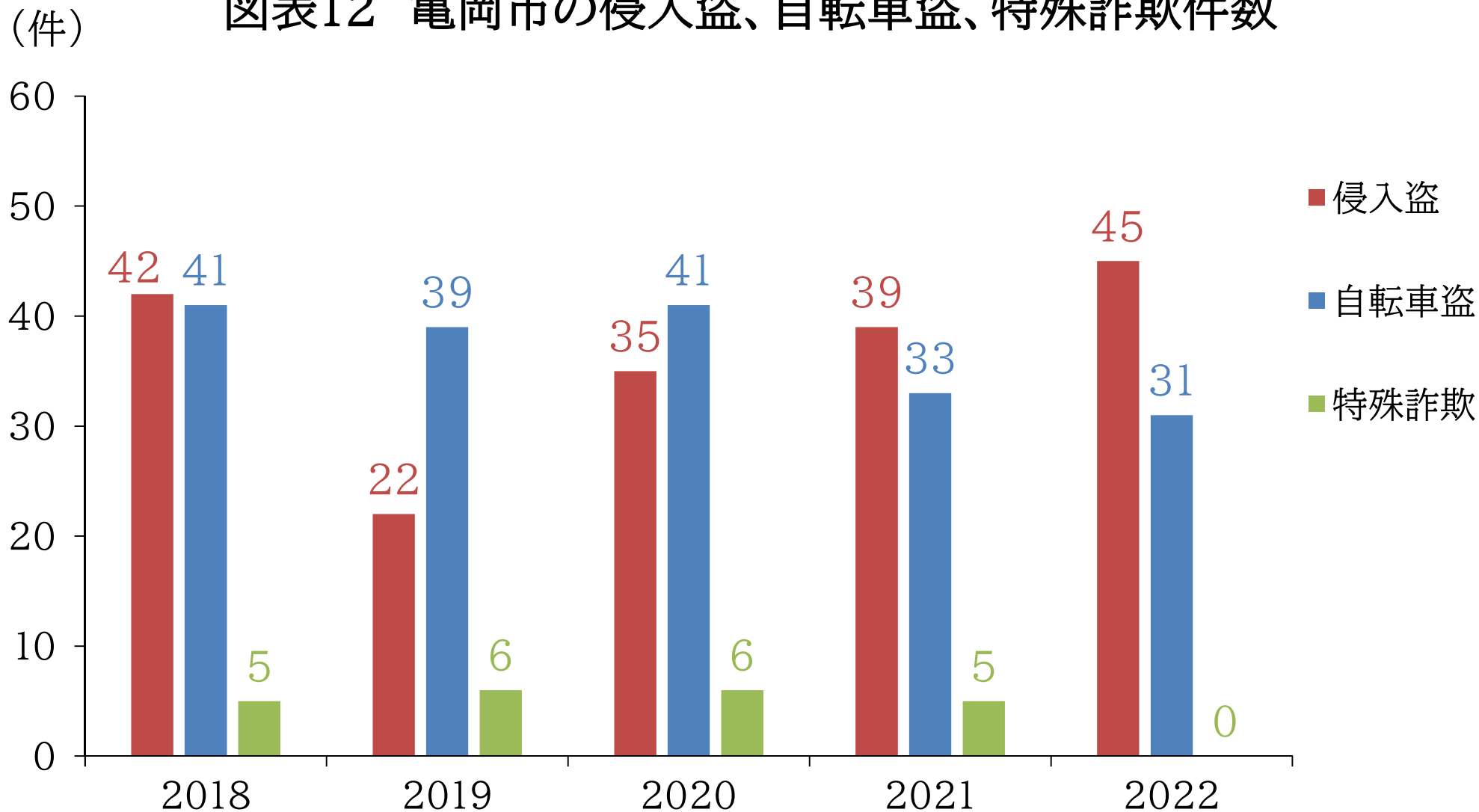


出典:京都府警察本部(2018~2022)

プログラム評価結果(長期)①

「侵入盗、自転車盗、特殊詐欺被害件数の状況」

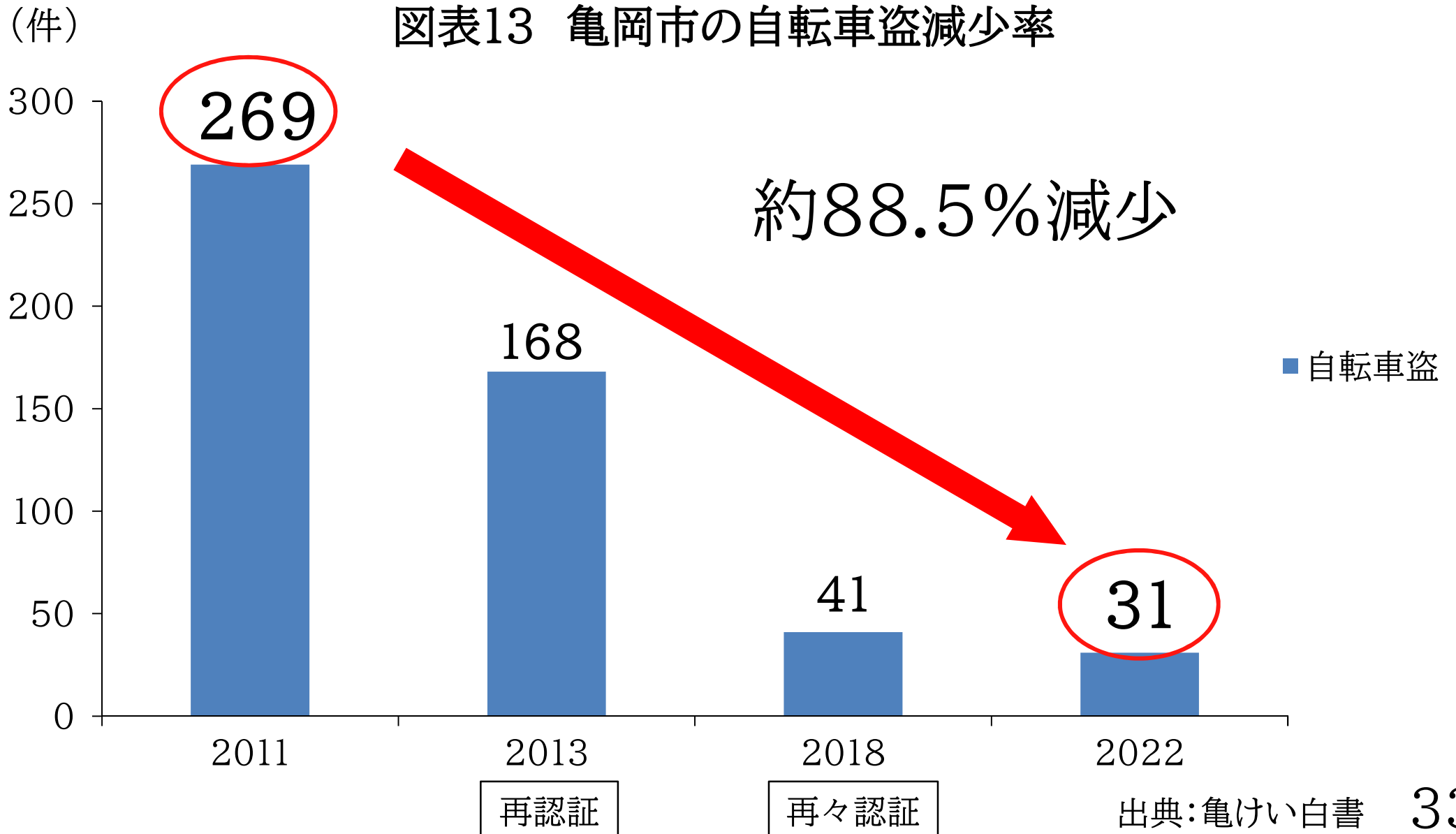
図表12 亀岡市の侵入盗、自転車盗、特殊詐欺件数



プログラム評価結果(長期)②

「亀岡市の自転車盗減少へ」

図表13 亀岡市の自転車盗減少率



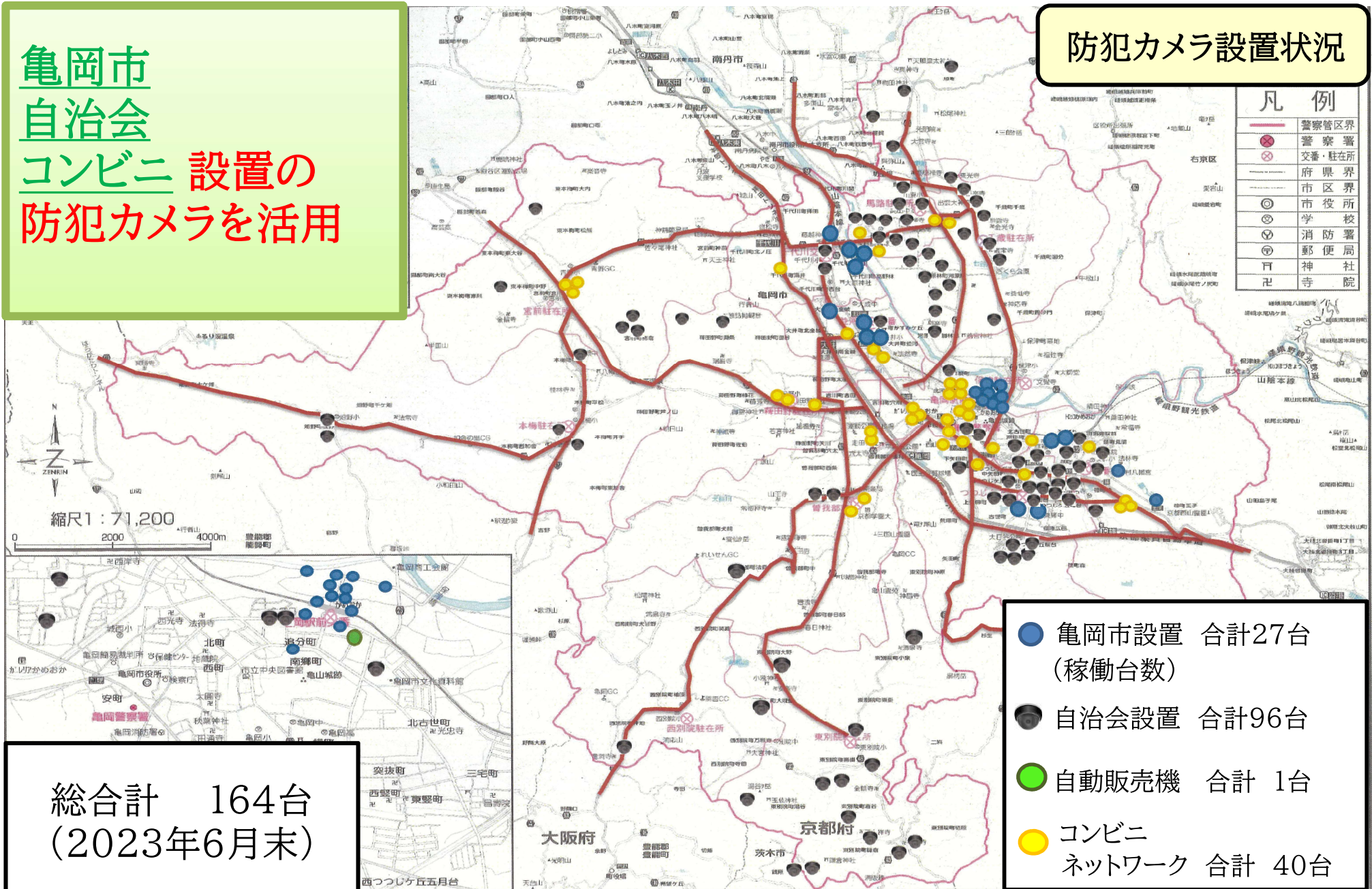
②固定防犯カメラ活用プログラム

課 題	窃盗犯全体の中で特に侵入盗や自転車盗が多い	
目 標	侵入盗や自転車盗を防止する。	
内容等	【内容】	防犯カメラを設置することで侵入盗や自転車盗を防止する。
	【対象】	亀岡市民
(短・中期) 態度や行動の 変化	【指標】 防犯カメラ認知率	【測定】 セーフコミュニティ アンケート調査
(長期) 状態や状況の 変化	【指標】 窃盗犯認知件数 侵入盗件数 自転車盗件数	【測定】 犯罪統計

固定防犯カメラ活用プログラムの活動状況

亀岡市
自治会
コンビニ 設置の
防犯カメラを活用

防犯カメラ設置状況



固定防犯カメラ活用プログラムの活動状況

●亀岡市 27台

JR亀岡駅:12台 ・ JR馬堀駅:2台
JR並河駅:2台 ・ JR千代川駅:3台
千代川町 :1台 ・ 南つつじが丘:1台
各都市公園:4台 ・ 篠町:2台

●自治会 96台

●コンビニ 40台 (店外撮影用)

〈かめおかコンビニセーフティネットワーク加盟店店舗〉

●まちづくり協定分 1台

(災害対応型自動販売機)

合計 164台で見守り



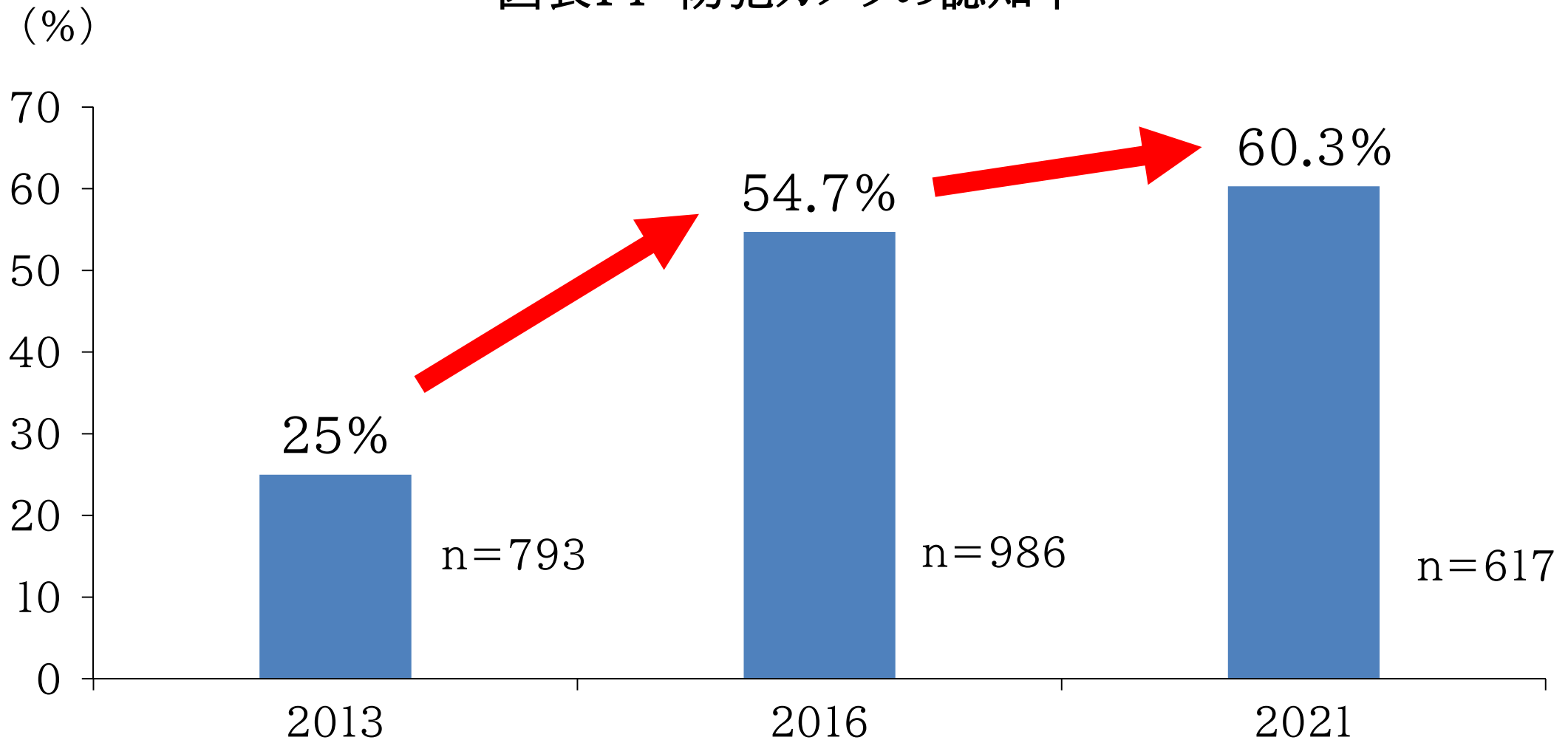
固定防犯カメラ活用プログラムの活動実績

	実 績					対策委員会の 関わり	工夫点
	2018	2019	2020	2021	2022		
防犯カメラ 設置	亀岡市					●効果的な設置 箇所の検討	犯罪多発場所 に設置
	—	2台 追加	1台 追加	—	10台 追加		
	自治会						
7台 追加	12台 追加	16台 追加	18台 追加	13台 追加			
その他					●効果的な設置 箇所の検討	犯罪多発場所 に設置	
—	—	—	協定分 1台 追加	—			
かめおかコンビ ニセイフティ ネットワークと の連携	29店舗 40台	—	—	—			—

プログラム評価結果(短期・中期)

「防犯カメラの設置認知率は向上」

図表14 防犯カメラの認知率



③ドライブレコーダー活用プログラム

課題	侵入盗や自転車盗などの窃盗犯の被害件数が多い	
目標	窃盗犯を防止する	
内容等	【内容】	市民や市内企業が搭載しているドライブレコーダーを活用し、「まちの見守り体制」を充実・強化し、安全・安心で「選ばれるまち」・「住み続けたいまち」の実現を図る
	【対象】	亀岡市民、市内企業・団体
(短・中期) 態度や行動の 変化	【指標】 見守り協定認知率 「まち・レコ」プロジェクト認知率	【測定】 セーフコミュニティ アンケート調査
(長期) 状態や状況の 変化	【指標】 窃盗犯認知件数 侵入盗件数 自転車盗件数	【測定】 犯罪統計

ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

亀岡市ドライブレコーダーによるまちの見守り協定

事業者・亀岡警察署・亀岡市の三者が連携

バス会社、タクシー会社、新聞会社、社会福祉法人、
電力会社、警備会社、宅配会社、建設会社等と協定締結



合計27社 678台
(2023年6月末時点)



ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

亀岡市ドライブレコーダーによるまちの見守り協定

2022年2月9日
京都新聞



亀岡市ドラレコ見守り協定 締結企業20社超す

企業が使っているドライブレコーダーを犯罪抑止などに活用する。捜査に提供する取り組みで、犯人逮捕につながったケースもあり、市や署はさらに協力企業が20社を超えた。営業の拡大を目指している。

協定は、セーフコミュニティかめおか防犯対策委員会からの提言を受け、2016年にスタート。京阪京都交通や京都タクシーをはじめ、医療法人や建設会社など協力企業は年々増加。2日、新たにマルホ発條工業、京都湯の花自動車学校、ニチコン亀岡の3社が市、亀岡署と協定を締結し、計21社、609台の見守り態勢となった。

市役所での調印式では、締結した3社の代表が「積極的に協力していきたい」と話した。桂川孝裕市長は「犯罪検挙の大きな証拠となる。個人情報を守りながら、協定の輪が一層広がっている」と期待を込めていた。

(小川卓宏)



ドライブレコーダーの活用に向け開かれた協定調印式であいさつする企業関係者ら
(亀岡市安町・市役所)

「ほしい」と述べ、川瀬敏之署長も「見守り態勢が地域に知れ渡れば抑止効果大きい。これまでに3件の重要事件の解決にもつながった。」

↑ 2021年9月4日 京都新聞

防犯ドラレコ登録車1000台突破

企業や個人のドライブレコーダーを犯罪抑止や捜査に活用する。亀岡市と亀岡署の取り組みで、協定締結やボランティア登録をした車が千台を超えた。提供映像が事件解決に結び付いたケースもあり、市と同署は、さらなる協力者の増加を目指している。

亀岡で企業や個人協力 犯罪抑止や解決に貢献

協定と、個人向けの「かめおかまち・レコプロジェクト」で、2016年から始めた。協力者は車に専用のステッカーを貼り、普段は「動く防犯カメラ」として、街頭犯罪抑止につながる。回署から依頼があった場合は映像を提供する。市自衛防災課によると、映像が事件解決につながったケースが複数あったとい



ドライブレコーダー協定の協力車高に貼ってあるステッカー
(亀岡市安町・市役所)

3日にはヤサカ商事亀岡営業所、みどり学園安町幼稚園の3社が、市と同署と協定を結んだ。これにより18台が加わり、協力車高は計1005台(企業334台、個人371台)となった。

調印式で桂川孝裕市長は「協力企業はまた市内の事業者の一部。今後も増やしていきたい」とあつちした。

(南真臣)

ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

亀岡市ドライブレコーダーによるまちの見守り協定

捜査用提供のドライブレコーダー映像

痴漢逮捕の決め手に



亀岡署から提供を受けた京阪京都交通の山田運輸部長(左)に捜査用映像を再確認した亀岡市交番(右)の交番長

亀岡署が京阪京都交通へ感謝状送る

捜査用に提供を受けたドライブレコーダーの映像が痴漢の容疑者逮捕の決め手になったとして、亀岡署はこのほど、京阪京都交通(京都市南区)に感謝状を贈った。
同署が4月に地元事業所などと結んだ協定に基づき映像の提供を受けた。協定先からの映像が直接摘発につながったのは初めて。
摘発したのは、6月に市内で発生した痴漢容疑の事案で、7月に男を逮捕した。自転車の男が女性の体を触る事案が連続発生したため、同社

に依頼し、映像を照会したところ、男が被害者の後を付けている様子が確認でき、逮捕に結び付いたという。
安町の同署で感謝状の贈呈式があり、京阪京都交通の山田敏貴運輸部長は「市民の安全を守るため、今後も積極的に連携したい」と話した。
同署は「協定締結で素早く、緊密な情報交換ができるようになった」といい、今後も幅広い事業所に協力を呼び掛けるとしている。
(森大樹)

↑ 2016年9月15日 京都新聞

亀岡で女性誘拐
強姦未遂の疑い
府警、男を逮捕
京都府警捜査1課と亀岡署は27日、わいせつ目的誘拐と強姦未遂の疑いで、大阪市東淀川区淡路二丁目、会社員茶園翼容疑者(38)を逮捕した。
逮捕容疑は、3日午前0時45分ごろ、亀岡市内の路上で、同市のアルバイト女性(20)に道案内を求めて軽ワゴン車に乗せて連れ去り、車内で体を押さえつけて性的暴行をしようとした疑い。
府警によると、女性は約2時間後、市内の駐車場で解放されたという。

↑ 2016年9月28日 京都新聞



← 2018年1月26日 感謝状贈呈式

→ 市内で発生した3件の事案解決の決め手に

ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

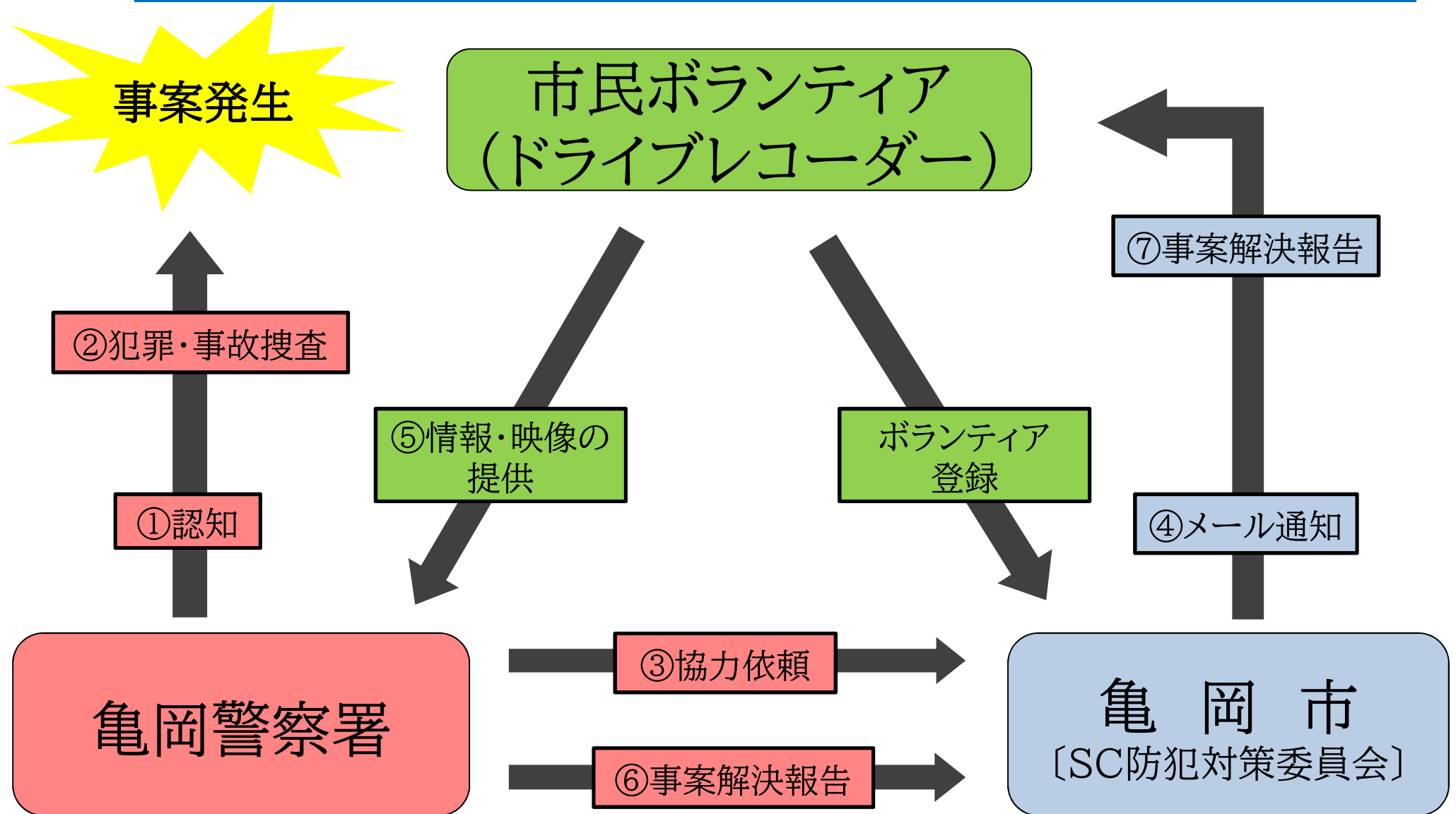
かめおか「まち・レコ」プロジェクト



マグネット・ステッカーの2種類
サイズ（直径約 14cmと7.5cm）
の2種類

ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

かめおか「まち・レコ」プロジェクト



ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

かめおか「まち・レコ」プロジェクト



三井住友海上と協働で、「まち・レコ」プロジェクトの告知チラシを作成

SDGs未来都市亀岡



ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

かめおか「まち・レコ」プロジェクト

亀岡廃旅館放火容疑

亀岡市で8月、廃旅館の一部が燃える火災があり、亀岡署は1日、ともに大阪府茨木市、無職男(18)と中学3年の男子生徒(15)の兄弟を非現住建造物等放火容疑で逮捕した。署は認否を明らかにしていない。発表では、兄弟は共謀。8月9日午後5時35分頃〜6時15分頃、亀岡市蕨田野町柿花宮ノ奥にある廃旅館に放火し、4棟ある建物のうち、玄関棟や宴会場など計約1600平方メートルを燃やすなどした疑い。

↑ 2022年11月2日 読売新聞

ドライブレコーダーの映像も
犯人検挙の手助けに！

元旅館に放火

2少年を逮捕

容疑で亀岡署

亀岡市の湯の花温泉にある元旅館で8月に起きた火災で、亀岡署は1日、非現住建造物等放火の疑いで、大阪府茨木市の無職少年(18)と男子中学生(15)

を逮捕した。

逮捕容疑は8月9日午後5時37分〜午後6時14分の間、亀岡市蕨田野町で元旅館の建物に放火し、約1600平方メートルをほぼ全焼させた疑い。同署によると、2人は兄弟という。認否は明らかにしていない。

↑ 2022年11月2日 京都新聞

ドライブレコーダー活用プログラムの活動状況

かめおか「まち・レコ」プロジェクト

○市民ボランティアに登録した理由 活動してみての感想

- ・走行中の車に貼っているかめまる君のシールが可愛いから
- ・子どもが生まれたことで、まちの安全に関心が強くなったから
- ・参加をきっかけに、子どもや高齢者の様子に注意を向けるようになり、これまで以上に安全運転を心がけるようになった
- ・情報提供依頼メールで窃盗事件や不審者情報が把握でき、防犯に役立つと感じた

亀岡市ドライブレコーダーによる まちの見守り協定

○企業・団体の締結した理由

- ・協定を結んでいる京都新聞の記事を見て、我が社も締結して安心安全なまちづくりに貢献したいと思ったから
- ・事業所や企業が増えることによって、まちを見守る目が増え、犯罪や交通事故発生の抑止力になるから
- ・協定のマグネットを付けている走行車を見て、協力できると感じたから
- ・自社の車も色んなところを走っており、力になれると思ったから

ドライブレコーダー活用プログラムの活動実績

	実 績					対策委員会の 関わり	工夫点
	2018	2019	2020	2021	2022		
ドライブレコーダー 協定締結	6社 追加	—	4社 追加	6社 追加	3社 追加	企画の発案、 締結企業の 提案	様々な時間帯に 広範囲で活動し ている企業を選 定
「まち・レ コ」プロ ジェクト運 用	37台 追加	52台 追加	149 台 追加	52台 追加	59台 追加	企画の発案、 内容検討	マグネット・ス テッカーを貼っ て活動すること により、周知と 抑止を図る

プログラム評価結果(短期・中期)

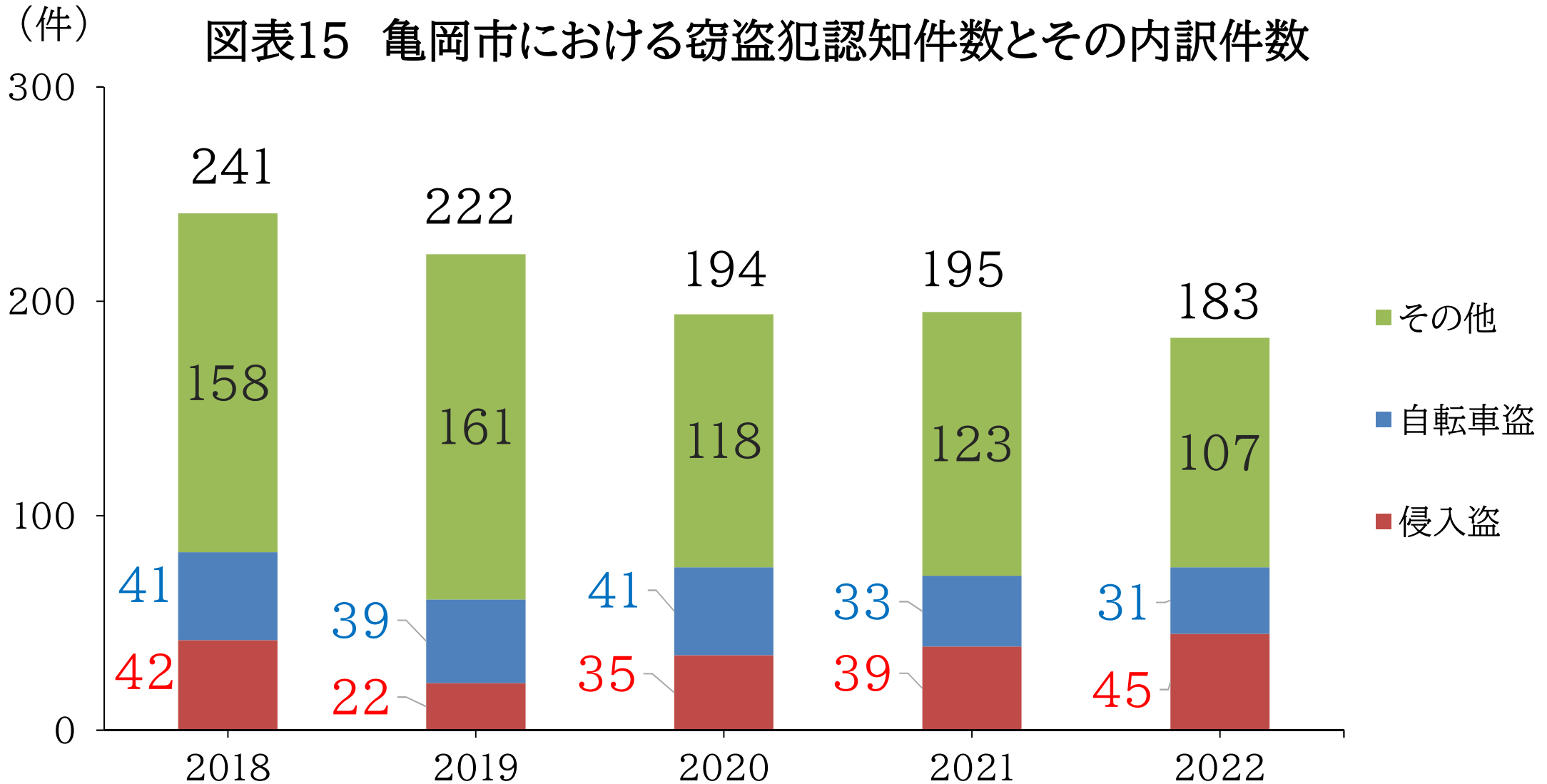
「ドライブレコーダーによるまちの見守り協定」認知率 「まち・レコ」プロジェクト認知率	
短・中期	2021
「ドライブレコーダーによる まちの見守り協定」	45.7% n=617
「まち・レコ」プロジェクト	46.7% n=617

出典:2021年度 亀岡市セーフコミュニティアンケート調査

プログラム②、③に関する評価結果(長期)

「窃盗犯は減少しているが、
侵入盗・自転車盗は増加・減少の繰り返し」

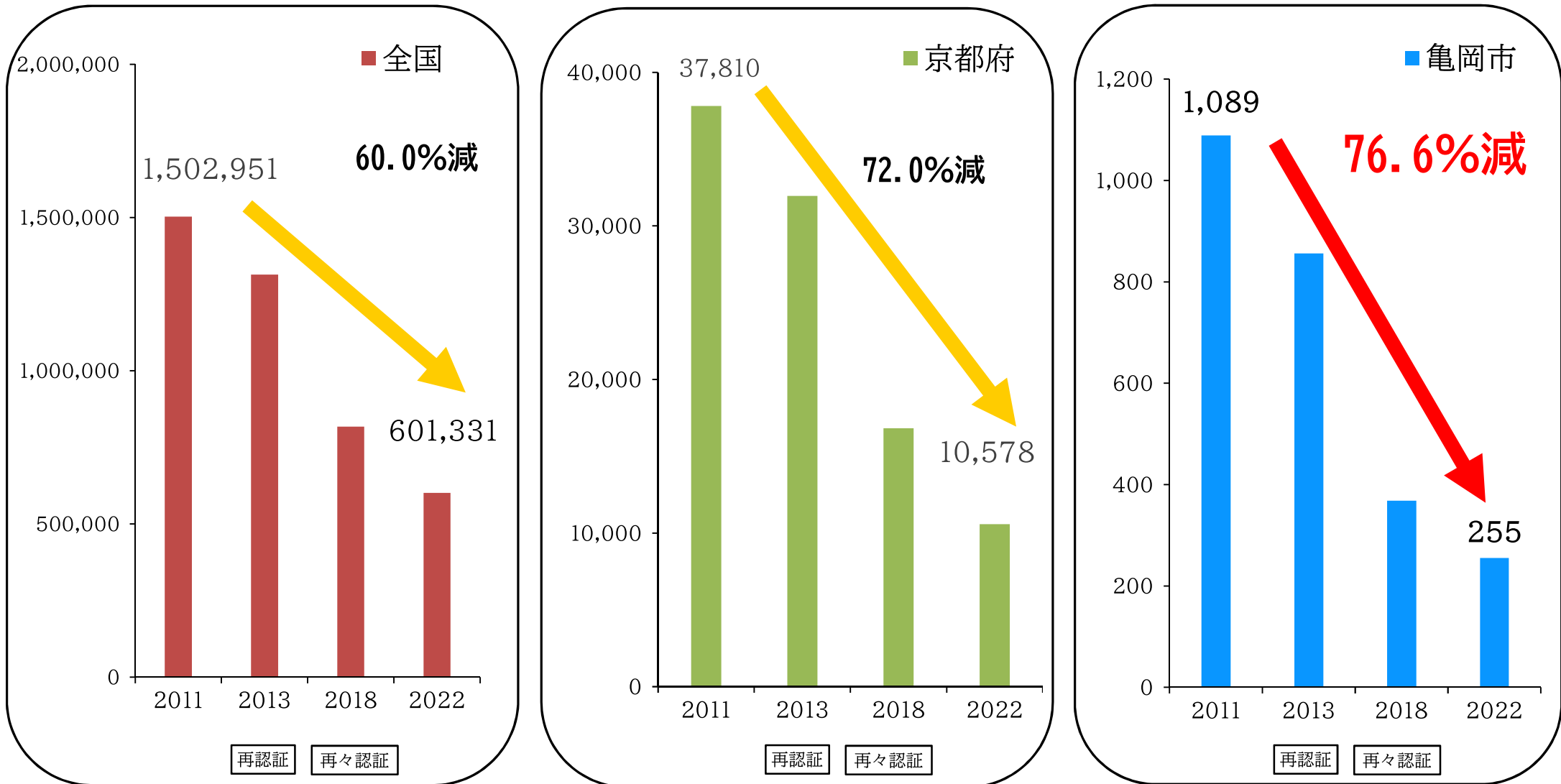
図表15 亀岡市における窃盗犯認知件数とその内訳件数



取組成果の検証

「刑法犯認知件数の減少率」

図表16 全国・京都府・亀岡市の減少率比較



気付きや変化

- 2020年頃から新型コロナウイルスが流行し、対面での啓発ができない中で、市公式SNS(LINE・Facebook)を活用することで、注意喚起に取り組んだ。
- 当対策委員会だけの活動にとどまらず、交通安全対策委員会と合同で啓発活動をおこなった。
- 被害者の立場から未然に防止することができる犯罪について、市民一人一人の防犯意識を向上させる。

現在の課題

- 特殊詐欺被害の件数と額は、年々減少しているが、1件あたりの被害額は依然として大きい。
- 窃盗犯が刑法犯認知件数の6割以上を占めている。
- 侵入盗、自転車盗が多い。
- かめおか「まち・レコ」プロジェクトの市民ボランティアの参加が少ない。

SC4回目の認証
(国内認証)

今後の計画

SC5回目の認証
(国内認証)

2023

2024

2025

2026

2027

2028

プログラム① 継続 市民の防犯意識向上と被害防止

プログラム② 継続 固定防犯カメラの増設と設置の
周知による犯罪発生抑止

プログラム③ 拡大 かめおか「まち・レコ」プロジェクト
市民ボランティア参加促進

子ども見守りシステム

